

2 対策

(1) 目指すべき方向性

- 災害急性期（発災後 48 時間以内）において必要な医療が確保される体制を構築します。
- 災害急性期を脱した後も患者や住民の健康が確保される体制を構築します。

(2) 数値目標

課題	指標の種別	指標名	圏域	計画策定時	目標値 (令和11年度)
①	ストラクチャー 指標	病院の耐震化率	全圏域	76.3% (令和4年9月)	80.0%以上
②		病院の自家発電機の燃料の備蓄 (3日分)の実施率	全圏域	35.1% (令和4年9月)	50.0%以上
③		スプリンクラー設置義務を有する 病院・有床診療所における、未 設置施設数	全圏域	8施設 (令和5年9月)	0施設
④		病院における業務継続計画策定率	全圏域	56.3% (令和5年1月)	90.0%以上
④	プロセス 指標	業務継続計画を策定している病 院のうち被災した状況を想定し た災害実働訓練を実施している 病院の割合	全圏域	44.4% (令和5年1月)	56.0%以上
⑤	ストラクチャー 指標	浸水想定区域に所在する病院の うち浸水を想定した業務継続計 画を策定している病院の割合	全圏域	38.7% (令和4年9月)	50.0%以上
⑤		浸水想定区域に所在する病院に おいて浸水対策を講じている病 院の割合	全圏域	62.9% (令和4年9月)	100%
⑥	プロセス 指標	EMIS の操作を含む研修・訓練を 実施している病院の割合	全圏域	82.5% (令和4年9月)	100%
⑦	ストラクチャー 指標	DMAT 感染症研修を受講した DMAT 隊員の隊員数	全圏域	3人 (令和4年度)	16人以上 (4チーム以上)
⑦		DMAT 養成研修受講者数	全圏域	3チーム (令和5年度)	16人以上 (4チーム以上)
⑧	プロセス 指標	災害医療チーム等の受入や広域 医療搬送を想定し、都道府県本 部で関係機関との連携の確認を 行う災害訓練の実施回数	全圏域	3回/年 (令和5年度)	4回/年
⑧		災害医療チーム等の受入を想定 し、保健所単位で関係機関との 連携の確認を行う災害訓練の実 施回数	全圏域	1ヶ所 ・計1回/年 (令和4年度)	7ヶ所 ・計7回/年
⑪	ストラクチャー 指標	災害拠点精神科病院の指定	全圏域	0ヶ所 (令和5年4月)	必要数を 指定
⑫	プロセス 指標	災害支援ナース派遣協定締結の 医療機関数	全圏域	—	45機関以上
⑫		災害支援ナース登録者数	全圏域	—	150人以上